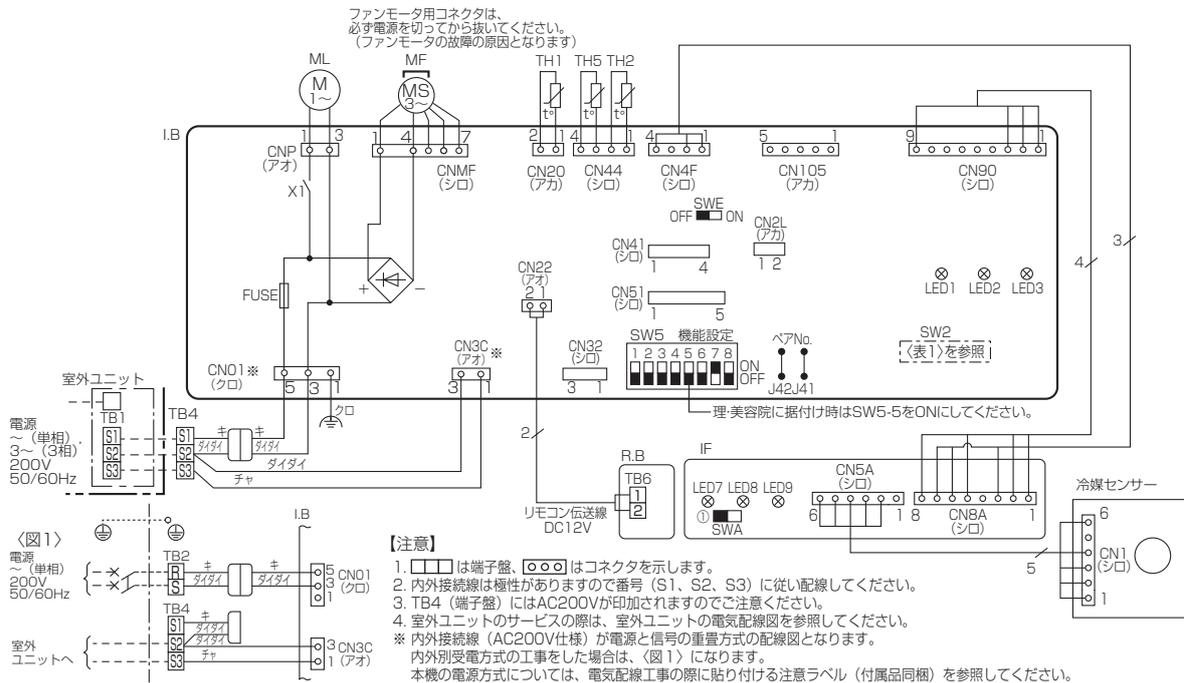


# PS-RP50,56,63,71,80,112,140,160KA14 電気配線図

## 【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	IF	別置基板
FUSE	ヒューズ (6.3A)	LED7	発光ダイオード
CN2L	コネクタ (別売: ロスナイ、遠方表示キット)	LED8	発光ダイオード
CN32	コネクタ (別売: 遠方発停アダプタ)	LED9	発光ダイオード
CN41	コネクタ (JEMA標準HA端子-A)	MF	送風機用モータ
CN51	コネクタ (集中管理)	ML	ルーバ用電動機
CN105	コネクタ	TB1	端子盤 (室外: 電源及び内外接続線)
LED1	発光ダイオード (マイコン電源)	TB2	端子盤 (室内: 電源 (別売))
LED2	発光ダイオード (リモコン給電)	TB4	端子盤 (室内: 内外接続線)
LED3	発光ダイオード (室内外通信)	TB6	端子盤 (リモコン伝送線)
X1	リレー (ルーバ)	TH1	サーミスタ (室内吸込温度検知) 0°C / 15kΩ, 25°C / 5.4kΩ
SW2	スイッチ (能力設定 <表1> 参照)	TH2	サーミスタ (室内配管 (液管) 温度検知) 0°C / 15kΩ, 25°C / 5.4kΩ
SW5	スイッチ (機能設定)	TH5	サーミスタ (室内配管 (二相管) 温度検知) 0°C / 15kΩ, 25°C / 5.4kΩ
SWE	コネクタ (通常/応急運転切換)		
R.B	ワイヤードリモコン		



<表1> SW2 (能力設定)

形名能力	SW設定	形名能力	SW設定	形名能力	SW設定	形名能力	SW設定
50形		56形		63形		71形	
80形		112形		140形		160形	

■はスイッチの位置を示します

## 【自己診断】

- リモコン (本体取付) の [点検] スイッチを連続して2度押すとユニットは自己診断モードとなり、過去に発生した点検コードを液晶表示します。点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	Fb	室内制御基板異常
P2	配管 (液管) センサー異常	FL	冷媒漏えい異常 (冷媒センサー)
P6	凍結/過昇保護作動	FH	冷媒センサー異常
P8	配管温度異常	E0~E5	リモコン-室内ユニット間の通信異常
P9	配管 (二相管) センサー異常	E6~EF	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常
Pb	室内ファンモータ異常	EE	内外組合せ異常
PL	冷媒回路異常	U*, F*	室外ユニットの不具合

U\*, F\* は点検コードを参照

## 【応急運転】

- リモコン (本体取付) または室内ユニットのマイコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクタ (SWE) をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。応急運転中の室内ユニットはファン強風運転状態となります。冷房または暖房の応急運転を行なう場合、室内制御基板のコネクタ (SWE) 設定と室外ユニットの応急運転が必要です。室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
- 応急運転を行なうときの確認項目と注意事項
  - 以下の場合、応急運転はできません。
    - 室内外ユニットに異常がある場合
    - 室内送風機に異常がある場合
  - 応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温度等は作動しません。
  - 暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
  - 冷房応急運転は最長10時間以内としてください。室内ユニットの熱交換器が凍結するおそれがあります。
  - 応急運転終了後はコネクタ設定等を元の状態に戻してください。